

愛する「まち」の安全を守る

減らそう犯罪

■「身近な犯罪」が増えている

「身近な犯罪」という言葉をご存知でしょうか。

乗り物盗難、自販機荒し、ひったくり、住居侵入・強盗、強制わいせつなど、私たちが身近に脅威を感じる犯罪をいいます。近年、犯罪が急速に増加していますが、特にこれら「身近な犯罪」が著しく増加しています。熊野町においても、犯罪認知件数（*）は年々増加し、その大半が「窃盗犯」となっています。

年	犯罪認知件数	内、窃盗犯
平成14年	368	282 (77%)
平成13年	280	238 (85%)
平成12年	193	168 (87%)

* 犯罪認知件数：警察が事件として取り扱った件数

■地域の犯罪抑止力が低下している

かつて、わが国は「世界一安全な国」とであると高く評価されてきました。

ところが、近年では主要先進国で軒並み犯罪認知件数が減少しているのに対し、わが国では増加を続けています。「身近な犯罪」のほか、国際犯罪やハイテク犯罪などが急増し、その手口も巧妙化しています。

これに加え、都市化や高齢化により、かつて地域が有していた犯罪抑止力が低下していることも事実でしょう。「安全神話」は崩れ去ったのでしょうか。安全な暮らしを守るため、私たちは何ができるのでしょうか。

■犯罪の機会を取り除く

病気と同様、犯罪も予防対策が大切です。「見られている」、「みつきやすい」、「時間がかかる」、「技術がいる」。こういった、犯罪者にとって都合の悪い状況をつくりだすことは、私たち一人ひとりが取り組める予防対策です。

■防犯パトロールを実施中



町では平成15年11月から「防犯パトロール」を行っています。

毎日4名のパトロール員が町内の商業施設、公共施設、文化財などを巡回し犯罪の発生を警戒しています。また、青少年への声かけや廃棄物の不法投棄も監視しています。

犯罪は、警察やこの事業でのパトロールで防げるものではありません。私たち一人ひとりが防犯に対する意識を高めること、そして、地域が一体となって「犯罪に強いまち」を築くことが、犯罪を減らす近道です。 (政策推進室 TEL820-5632)

誰でもできる予防対策

空き巣対策

窓やドアはツーロック以上で施錠
外出時は、隣近所に一声かける
隠し力は絶対にやめる
窓ガラスには防犯フィルムを貼る

痴漢対策

防犯ブザーを持って歩く
暗い夜道は避けて通る

車上ねらい対策

ドアロックを確実にする
車の中には貴重品を置かない

乗物盗難対策

二重ロックする
防犯登録をする

1月10日は「110番の日」
身近な犯罪
防ぐあなたの110番
「110番」は緊急電話です。

事件・事故が発生した時、スピード検挙へ向けての警察活動を迅速かつ的確に行うためには、皆さんの「適切な110番利用」が大変重要となります。

★「110番」のかけかた

110番すると警察官が次のことを質問しますので、慌てず落ち着いて話してください。

- 事件ですか事故ですか。
- いつごろ、どこでありましたか。
- 犯人の服装など特徴は。
- どちらに何で逃げましたか。
- どんな状況ですか。
- あなたの氏名、住所、電話番号は—

◎警察から皆さんにお願い

- ・被害にあつたらすぐ「110番」
- ・おかしいと思ったら「110番」
- ・運転しながらの「110番」はやめましょう。

緊急事案以外は

「警察安全相談電話」
TEL 228-9110
いたずら電話はやめましょう。
(生活環境課)

献血のお願い

冬場は献血者が不足し輸血用の血液が大変不足しています。皆様のご協力をお願いします。

とき 1月24日(土)
受付時間 午前9時半～正午
午後1時15分～午後4時
主 催 安芸ライオンズクラブ
熊野町内郵便局

ところ ユアーズ熊野店 問合せ先
野外駐車場 広島県赤十字血液センター
TEL 241-1248
FAX 245-8971

(企画課)